



山腰 恵一 議員

あらゆる災害に備え 地域防災力向上へ！

自主防災組織の活性化

【問】自主防災訓練の参加状況は。

【答】平成22年は22回・7763人、平成23年は199回・6631人である。

【問】地図上で地域の特徴や課題などを読み取り被害想定をする災害図上訓練の現状は。

【答】平成22年は32組織、平成23年は2組織が行っている。

【問】自主防災組織である町内会に防災リーダーを育成しては。

【答】効果的な活動のためには専門的な知識や技術を持った方を増やす必要がある検討したい。

【問】防災リーダーとして防災士の資格取得を推進しては。

【答】防災士の資格を有する方が増えていくことは大変ありがたいことである。今後は、町内会や自主防災組織を対象とした全市民的な市民防災研修会を毎年開催していく中で、防災意識向上と、各地域における防災リーダーの役割を担う防災エキスパートの育成について検討したい。

【問】地域の防災力向上に対する取り組みは。

【答】自主防災組織の機能性を高め、災害時に地域・近隣の共助機

能が働くよう、各所管部局と連携を図りたい。

小型家電リサイクル「有用金属」について

【問】使用済み小型家電には資源価値の高い金属が含まれているが市の認識は。

【答】小型家電のリサイクルを行うことは資源確保、廃棄物減量化などの上で重要と認識している。

【問】処理方法は。

【答】可能な範囲で鉄のみを資源化して埋立処分している。

【問】小型電子機器等再資源化促進法が来年度施行されるが、市の課題認識と方針は。

【答】対象品目や認定事業者の把握など循環利用までの流れが確立されていないことが課題である。循環型社会を形成する上で重要であることから、国や他自治体等の状況を踏まえ積極的に取り組みたい。



中筈 博之 議員

毅然とした姿勢で 高山の景観を守れ！

市営住宅における入居者の高齢化

【問】入居者の高齢化について現状把握は。

【答】全729世帯のうち高齢世帯が272世帯、37・3%。

【問】自治会運営や共有空間の掃除・除雪などのほか防災や防犯面でも課題ではないか。

【答】課題を認識し、注視していきたい。

【問】若い子育て世帯の入居など世代構成の多様化を図る考えは。

【答】裁量階層について検討したい。

災害に強いまちづくり

【問】防災会議を市長の諮問的機関とする条例改正の意図は。

【答】普段から議論す

ることで防災会議の機能を高めようとするもの。

【問】防災会議に女性の視点を積極的に取り入れるという考えは。

【答】女性をはじめとする多様な主体の参画を図りたい。

【問】災害時要援護者の支援について、具体的な指針・計画は。

【答】支援対策協議会で、全体計画・個別支援計画策定に向け協議を始めたところ。

屋外広告物の適正化

【問】屋外広告物適正化旬間の取り組みは。

【答】違反広告物の是正指導・啓発と除却。

【問】景観計画に示された基準「けげばしい色彩」「原色等」などの

表現が曖昧すぎでは。

【答】色の規制だけでなく良好な広告につながるものではない。

【問】掲出基準について思い切った見直しが必要ではないか。

【答】現在、まちなみ保存会の方々と話し合っているところ。

【問】質の向上を図る取り組みは。

【答】「景観にふさわしい看板補助金」などの活用で良好な広告物を誘導したい。

【問】景観プロジェクトの方向性は。

【答】「守る、作る」という視点に立って現在多方面の方々と検討をしてもらっている。



景観に配慮したサイン